

平成17年1月～平成30年5月までに当センターにおいて

病理解剖をお受けになった患者さんのご遺族の方へ

(1) 研究の概要について

当センターでは下記の研究機関と共同で「プロテオーム解析による心筋老化機序の解明の試み」を実施しています。

人間は年を取ると、脳、骨筋肉系、内臓など様々な臓器が老化していきます。心臓も例外ではなく、加齢と共に血圧が上昇するため、心臓への負荷が増加し、心臓の収縮能力、拡張能力が落ちていきます。また心臓を栄養する冠動脈も動脈硬化が進み、血液の供給が不十分となります。さらに高齢者では糖尿病、脂質異常症などの疾患を高率に合併し、心臓の機能に影響することが考えられます。本研究ではタンパク質の発現を網羅的に解析するプロテオーム解析を行い、加齢や心臓の機能低下に伴って変動する心臓のタンパク質を同定し、心筋老化の発生機序を研究します。

具体的には平成17年1月～平成30年5月までに東京都健康長寿医療センター（旧東京都老人医療センターを含む）で病理解剖された方が研究の対象となります。病理解剖のご承諾の際に医学研究へのご協力にもご承諾いただいておりますが、改めて研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加をご希望されない場合や、また研究に関するご質問がある場合には、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究題名：「プロテオーム解析による心筋老化機序の解明の試み」 「承認番号：R18-21」

研究期間：承認後から平成33年3月31日

研究責任者（所属・職名・氏名）

東京都健康長寿医療センター・循環器内科・医員

鳥羽梓弓

研究分担者（所属・職名・氏名）

東京都健康長寿医療センター・副院長

原田和昌

東京都健康長寿医療センター・病理診断科・部長

新井富生

東京都健康長寿医療センター・老化機構研究チーム・副部長

三浦ゆり

東京都健康長寿医療センター・老化機構研究チーム・研究員

津元裕樹

東京都健康長寿医療センター・老化機構研究チーム・研究員

梅澤啓太郎

東京医科歯科大学分子病態検査学・教授

沢辺元司

東京医科歯科大学分子病態検査学・助教

副島友莉恵

東京医科歯科大学分子病態検査学・博士課程大学院生

佐藤瑞穂

(2) 研究の意義・目的について

心臓は全身に血液を供給する大変重要な臓器であり、心臓機能の低下は全身の機能低下を引き起こします。心臓機能が著しく低下する場合は、命に関わります。本研究で心筋老化の発生機序が明らかにな

れば、心臓及び全身の老化予防に役立ち、健康長寿に繋がる。なお、解析結果についてはまだ研究段階であり、個別に結果はお知らせいたしませんので、予めご了承ください。

### (3) 研究の方法について

通常、病理解剖中に採取した心筋組織からタンパク質を抽出して、プロテオーム解析を行い、加齢や心臓の機能低下に伴って変動する心臓のタンパク質を同定します。次にタンパク質の変動をウェスタンブロット法および免疫組織化学的方法により確認します。解析結果は統計学的手法により解析します。

### (4) 資料の保管と、他の研究への利用について

本研究を行うときには、個人情報とは完全に分離した形で扱っておりますので、患者さんの個人情報が漏れる心配はありません。また、国内外に研究の成果を論文・学会等で発表する場合も、個人の特定はできないようにしております。他の研究への利用はありません。なお研究終了後のデータの扱いについては、論文の根拠となるデータは発表後10年間保管します。保管責任者は主任研究責任者とし、保管場所については東京都健康長寿医療センターの所定の棚において施錠可能な状態で保管します。

### (5) 問い合わせ先

東京都健康長寿医療センター循環器内科 鳥羽梓弓  
〒173-0015 東京都板橋区栄町 35-2  
電話 03-3964-1141 内線 62025 (平日 9:00~17:00)